

海洋鉱物資源開発に向けた資源量評価・生産技術等調査事業委託費

資源エネルギー庁資源・燃料部
鉱物資源課

令和4年度概算要求額 96.0億円 (91.0億円)

事業の内容

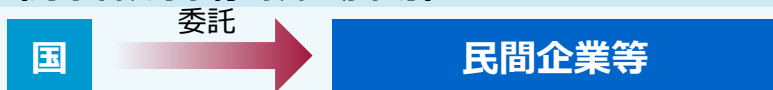
事業目的・概要

- 我が国周辺海域（領海・排他的経済水域）には、次世代自動車や再生エネルギー等に不可欠な銅やレアメタルを含む、海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト、マンガン団塊等の海洋鉱物資源が存在しています。鉱物資源の安定供給確保を図るため、資源量の把握や生産技術の開発に向けた基礎的な研究・調査等を行い、海洋鉱物資源開発を推進します。
- 令和4年度は、海底熱水鉱床について、資源量の把握を進めるとともに、採鉱・揚鉱システム確立に向けて掘削機の要素技術試験を実施します。併せて、海洋基本計画等に基づき、これまでの取組について、経済性を含む総合的な評価・検証を実施します。コバルトリッチクラストについても、資源量の把握を進めるとともに、鉱石特性を踏まえたコバルトリッチクラスト専用採鉱機の製作に向けて概念設計の検討を行います。また、海洋鉱物資源に共通する生産技術の基礎調査を行います。
- 海洋鉱物資源のうち公海に有する探査鉱区では、国際海底機構との契約に基づいて資源量の把握等を進めます。加えて、コバルトリッチクラストの探査鉱区では、鉱区の最終絞込に向けたデータ取得等を行います。

成果目標

- 平成23年度から令和9年度までの事業であり、海洋エネルギー・鉱物資源開発計画（平成31年2月、経済産業省）の工程表に沿って開発を進めます。海底熱水鉱床については、資源量調査から選鉱・製錬までの一貫したシステムに係る課題解決に取り組み、令和4年度に総合的な評価・検証を実施します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

<海洋鉱物資源>

海底熱水鉱床



コバルトリッチクラスト



マンガン団塊



レアアース泥



<資源量評価>

- 海洋資源調査船を使用し、資源量調査等を行う。



使用船：
海洋資源調査船
（調査に必要な推進機能や複数の機器を搭載）



調査手法：
ROV（遠隔操作無人探査機）による海底観察、試料採取等

<生産技術>

- 海洋鉱物資源について、生産技術の基礎調査を行う。

